

災害に強いまち平野の実現に向けて

平成23年の防災の取り組みを振り返って

区の取り組み

●防災フォーラムを開催しました

平野区では、東日本大震災の発生を受け、区内の5箇所で「防災フォーラム・パネル展」を開催しました。5回のフォーラムでは、震災発生時から復興に向けた現地の様子を当時の新聞記事で展示するとともに、都市文化研究所の金井文宏氏より、今回の東日本大震災について報告があり、藤井平野区長からは大阪市の取り組みなどの報告がありました。また、震災当日、仙台空港で被災された平野南連合振興町会の角野さんから震災時の様子をお聞きし、地震・津波の恐ろしさについてみんなで考えました。

今回のフォーラムを通じて、平野区では地震による津波の想定はないといわれているものの、地震の揺れによる家具の転倒での事故を防ぐため、日頃からの備えとして「家具の固定」をきっちりとすることが大切であることを確認しました。

また、これまでは「どちらかという震災への関心が薄い」といった方が、今回の地震発生にともない、日頃からの備えについて考える機会が増え、地域で行われる防災訓練などに積極的に参加したいとの意見も多くありました。

震災以降、各連合振興町会をはじめとして、様々な防災に対する取り組みが実施されました。



●防災コーチ研修会

平成21年～23年に防災リーダー養成講座を修了された16名の方を対象に、12月10日(土)に平野区防災コーチ研修会を開催しました。

当日は、大阪市危機管理室防災アドバイザーを講師として招き、図上訓練のポイントや、地盤高・被害想定の見方などを学習しました。参加されたみなさんからいただいた、区の防災活動についての貴重な意見を今後の防災訓練や研修などに取り入れ、地域のみなさんとともに災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。



●防災フェスティバルの取り組み

平野区では、昨年2月6日(日)と9月23日(祝)に平野区民センターで「防災フェスティバル」を開催しました。当日は、起震車による地震体験や、水消火器による初期消火体験などを行い、家族で体験することにより、日頃から災害に対して備えることの重要性を考えるきっかけとなりました。



大阪市消防局の起震車と初期消火体験の様子



各地域での取り組み

●瓜破連合防災訓練

10月23日(日)午前10時から瓜破小学校で、地域住民約200名が参加し、消防署の指導のもと、地域防災リーダーが実践の中核となり、水消火器を用いた消火訓練や倒壊建物からの救出訓練のほか、布担架による搬送、三角巾での応急処置、AED救命講習など、初期初動訓練の全般について体験しました。



●加美防災リーダー図上訓練

10月30日(日)に、防災リーダー養成講座を修了された5名の防災コーチの方が中心となり加美連合防災リーダー図上訓練を実施しました。当日は、多くの防災リーダーが参加し、それぞれの地域の特徴や自分たちが生活している地域の強み・弱みをグループごとに話し合い、今後の防災・減災の取り組みに役立てていくことを確認しました。



自分たちのまちの強み・弱みについて対話する参加者

●喜連連合夜間訓練

11月5日(土)喜連小学校で夜間防災訓練を3班に分かれて実施しました。初期消火班は、可搬式ポンプの収納場所である楯原神社境内に移動して訓練を行い、救出救護班は、教室の中で三角巾による応急処置や、毛布や衣服で担架を作る方法などを学びました。炊き出し班は、お湯を沸かし、1箱50人分の非常食アルファ米にお湯を入れ、できあがりまでの時間を計り、1人前ずつの小分け作業を体験し、参加者に配りました。



楯原神社境内の貯水槽の水を使用して消火訓練

●平野西連合避難所開設・運営訓練

11月20日(日)平野西小学校において、「平野西連合避難所開設・運営訓練」を実施しました。当日は、朝9時に地震が起こったと想定し、各町会での安否確認・一時避難所への避難ののち、収容避難所である平野西小学校に誘導・受付をして連合振興町会全体の安否確認を行いました。その後は、各班による訓練を実施しました。



救出・救護活動をする行動隊

●長吉出戸連合防犯防災センター拡張・機能充実

長吉出戸連合振興町会では、平野区の災害救助モデル地区として、防犯・防災の活動拠点「出戸防犯・防災センター」を長吉公園の一部に建設し、災害救助に取り組んでいます。



また、3月11日の東日本大震災の発生を受け、「防犯・防災センター」の機能充実を図っており、新たに装備品や消火器などを充実させました。

元禄時代の半鐘をシンボルマークに、『向こう三軒両隣』という助け合いの輪が、出戸地域から平野区全体に広がるとともに、災害に強いまちづくりをめざして日々活動しています。

の方が今も不安な生活を送られています。

昨年12月には、平野区内の防災関係機関の方々と、防災体制確立に向けた関係機関の連携構築について議論を行い、今後も定期的に会議を開催し、平野区の災害時における行政機関の役割を強化していきたいと考えています。

災害時に向けた取り組み

大阪市では、東日本大震災により被災された方々に市営住宅を提供しており、平野区においても、現在約40世帯の方が避難生活を送られています。

平野区役所としても、近い将来に発生が予測されている「東海・東南海・南海連動型地震」や「上町断層地震」に備え、災害発生時の情報伝達や避難所開設などの訓練を実施しています。

しかしながら、行政が実施しているだけでは十分とは到底言えません。昨年、5地区で開催した「防災フォーラム」でも阪神淡路大震災、東日本大震災の教訓を踏まえ、参加者からは「やはり地域住民による『自助・共助』が何より重要だ」という声が多数あがりました。

区民の皆様方には、裏面の「平野区防災マップ」をご覧ください、ご家庭や近隣の方々、また企業の皆様にとっては職場の方々とともに、日頃から避難所や避難方法の確認をしていただくようお願いいたします。

また、マップには資機材などの保管場所もあわせて記載しています。区内39箇所の収容避難所ならびに公園などに設置する45箇所の可搬式ポンプ庫には、①救助用の資機材として、パール・ジャッキなどを保管し、収容避難所には、救助用の資機材に加え、非常用の水や毛布などの②備蓄物資・機材を保管しています。(詳細は下記をご覧ください。)

収容避難所の開設にあたっては、区役所からも職員を派遣しますが、災害時に速やかに対応できるよう地元の連合振興町会・振興町会の役員の方々にご協力をいただき、地域住民が自主的に収容避難所を開設・運営できるよう体制整備を図っています。



- ①救助資機材一式 ()は数
パール(3)・手斧(2)・のこぎり(3)・ジャッキ(2)・シャベル(4)・ロープ(1)・かけや(1)・布担架(2)・救急セット(1)・番線カッター(1)
- ②備蓄物資・機材 ()は数
水缶詰(1,800)・毛布(300)・防災(防水)シート(120)・日用品セット(120)・簡易トイレ(4)・ブランケット(50)・ラジオ(10)・懐中電灯(20)・多言語パネル

区役所としては、日頃から市内の行政機関・医療機関などと連携を強めるとともに、災害時の役割分担の明確化などに取り組みます。さらに、大規模な防災訓練や防災に関する情報発信に取り組むなど区民や企業の皆様との協働のもと、災害時の体制整備を進めてまいります。

区民の皆様にも、日頃から災害に備えられるようお願いいたします。

転倒防止器具を設置して家具を固定しよう！

地震の際、建物そのものよりも、高層住宅はとりわけ家具による被害が多く見られます。下記は一例です、家具の固定をしましょう。

家具の転倒防止器具の効果

使用条件	器具の効果				
	小				大
単独使用	ストッパー式	ボール式	L型金具(スライド式)	L型金具(上向き取付け)	L型金具(下向き取付け)
	マット式		ベルト式		
			チェーン式	プレート式	
	取付条件 天井に十分な強度が必要	取付条件 家具、壁面や器具に十分な強度が必要			
組み合わせ使用(例)		ボール式+マット式	ボール式+ストッパー式		

資料：東京消防庁 家具類の転倒・落下防止対策 Q & A 集より

裏面にある「防災マップ」を壁に貼るなどして、家族全員で避難場所などを確認しましょう！

今後の取り組み

●3・11平野区防災リーダー実技訓練

東日本大震災を教訓に、日頃から地震・災害に対して備えることを目的として、地震が発生した3月11日に区内568名の「地域防災リーダー」による実技訓練を実施します。これまでの訓練の集大成として実施されるこの訓練により、平野区の地域防災力のさらなる向上をめざします。

●3・11東日本大震災被災者追悼のタベ

東日本大震災により被災されお亡くなりになった方々を追悼し、被災によりいまだに避難生活を余儀なくされている方を支援することを目的に「追悼のタベ」を開催します。

当日に向けて、区民の方々とうろうそく作りからはじめ、ろうそくの灯で『絆』の文字を灯す取り組みや、「追悼コンサート」も実施します。

- 日時 3月11日(日)《平野区防災リーダー実技訓練》午後2時～
《東日本大震災被災者追悼のタベ》午後4時30分～
※小雨決行。大雨の際は、瓜破土地改良区記念会館(瓜破東6-1-51)で「追悼のタベ」のみ実施します。
- 場所 瓜破霊園グラウンド(瓜破東4-3)
※車での来場はご遠慮ください。

「追悼のタベ」で使用するキャンドル用の耐熱性ガラスコップを募集します

ご家庭で使用していないガラスコップがありましたらご提供ください。
【募集個数】1,000個 ※おひとり様何個でも可能です。
【提供場所】市民協働課(市民協働)②番窓口 防災担当
【締切日】2月29日(水)
【問合せ】市民協働課(市民協働)②番窓口 ☎4302-9734

